

明日の公立大学のために（提言）

平成24年3月16日

宮崎公立大学の明日を考える懇話会

はじめに

宮崎公立大学の明日を考える懇話会は、平成25年4月の開学20周年を前に、「宮崎公立大学が、地域に根差した公立大学として、今後どのような大学教育や運営をしていくべきかを探る」ことを目的に設置されました。

懇話会では、これまでの公立大学の実績を踏まえつつ、公立大学の評価すべき点はさらに伸ばすとともに、これからの展望を踏まえて、公立大学の課題や不足している点については緊急に対応を求めるという観点で、昨年9月の設置以降、3回の審議を行い、今回の提言を取りまとめたものです。

1. これまでの宮崎公立大学の評価

宮崎公立大学は、自治体設置の大学として、「広く知識を授け、深く専門の学術を教授研究し、高い識見と国際的な視野を持つ人間性豊かな人材を育成するとともに、広く地域に開かれた大学として生涯学習の振興、産業経済の発展および文化の向上に貢献する」という建学の理念の下、平成5年4月の開学以来、優秀な人材を育成し地域社会に輩出してきました。全国でも数少ない自治体共同設置の公立大学として、建学の理念である「地域の人材の育成」と「地域社会への貢献」に大きな実績を残してきたと認められます。

これらの成果に照らして、公立大学の建学の理念やこれまでの教育、人材育成の方向性は堅持されるべきものと考えます。

特に、人材育成目標である「現代国際社会を理解し、国際協調に貢献できる人材としての国際教養人の育成」と少人数による教育指導は、一般教養を土台にした論理的思考により自ら問題解決できる能力を身に付けている人材や他とのコミュニケーションと協調性を有し主体的に実行できる人材の育成のために、大きな成果を上げてきたものとして評価できます。

2. これからの宮崎公立大学の課題

一方で、宮崎公立大学の目指す「リベラル・アーツ教育」がイメージしづらく、どのような人材が育成され、どのような就業に結びついていくのかが、大学受験生やその保護者を始め、進路指導担当教員や地域住民にもいまだ十分に理解されているとは言えない現状もあります。また、「英語の大学」というイメージが固定され、多様な分野の教育がなされていることや少人数教育による人材育成効果について広く伝わっていない点も課題として指摘されます。

さらに大きな問題として、18歳人口の減少という新たな状況の中で、県外への人材流出を止め地域への人材の定着と地域の活性化を図るといいう公立大学本来の使命の点から、地元高校生、特に男子学生の受け皿としての役割を十分に果たしているのか、という点が課題であり、わかりやすく、特色のある具体的な取り組みが早急に必要になっていると考えます。

なお、足元の問題として、学内に発生するハラスメントを深く反省するとともに、その対策を徹底し、今後ハラスメントのない、学生が安心して学べる大学にすることが必要です。

3. 明日の公立大学のために懇話会からの提案

社会人として必要な能力が養成される宮崎公立大学のリベラル・アーツ教育や少人数教育など、評価すべき点はさらに伸ばす一方で、リベラル・アーツ教育とはどのような教育か、それによりどのような有為な人材が育成されるかなど、公立大学の教育理念をより分かりやすく、具体的に発信することで「英語の大学」というイメージからの脱却を図っていくことが必要です。

さらに、地域社会の諸問題の高度化や少子化等という新たな課題に対応しつつ、将来に向かって、建学の理念を実現していくためには、リベラル・アーツ教育の理念を大切にしながら、地域社会を支える人材育成に有用な社会科学系科目の充実を図ることが必要です。その際には、現在の学部・学科の再編も視野に入れつつ、高校生、保護者のニーズを十分に把握し、関係自治体、経済界や他の教育機関との対話、協力・連携などにも留意することが求められます。

大学を取り巻く状況は楽観視できるものではなく、教職員一人ひとりが危機意識を持って明日の公立大学のあるべき姿を考える必要があります。提言すべき内容もこれに尽きるものではないでしょうが、宮崎公立大学と設置者である宮崎市とが、綿密な連携により諸課題に適切に取り組み、公立大学が「学生一人ひとりを大切にする、学生本位の大学」「少人数で広く深く学べる大学」「地域との連携を大切にする、地域密着型の大学」として、これまで以上に魅力的で存在感のある大学となることを期待するものです。

この提言は、公立大学理事長に委嘱をうけた様々な立場の7名の委員が集まり、公立大学事務局のサポートのもとに、明日の公立大学のために、1年間の任期中に集中的な議論を行って取りまとめたものです。公立大学及び宮崎市がこの提言を真摯に受け止め、外部の意見を聞きながら、公立大学の改革の推進に向けた具体策を早急に策定し実行に移されることを希望するものです。

宮崎公立大学の明日を考える懇話会委員

丸 山 淑 夫 (座長)

比 嘉 廉 太

岡 林 稔

黒 木 正 彦

岩 切 眞千子

小 田 千 恵

新 坂 英 伸